

● **日本体験学習研究所(JIEL)とは**

日本体験学習研究所(JIEL)では、1947年K.レヴィンたちにより人間関係の理解と改善のために開発された「ラボラトリー方式の体験学習」の基礎的な研究とさまざまなフィールド(学校教育、企業組織、看護医療、国際協力など)における応用実践研究を行っています。

ラボラトリー方式の体験学習とは、「人と人が特別に設計された関わる場において、“今ここ”での参加者の体験を素材(データ)として、人間や人間関係を参加者とファシリテーターとがともに実験的に探求する学習」です(津村、2009)。

K.レヴィンの思想を継承し、現代の社会のニーズに応えること、特に人間関係に関わる諸問題の解決とともに、人間が本来持つ可能性と潜在能力を探求し、社会の変革を目指すデザインと実践ができるファシリテーターとして私たちが活動し、研究やプログラムを提供して、さまざまなフィールドで活動する人々がそうしたファシリテーターになれるための支援をしています。

これらの活動を通して、ラボラトリー方式の体験学習の普及と共に生きる社会の創造をめざしています。

※JIELとは、Japan Institute for Experiential Learning の略称です

● **沿革**

- 2006年 愛知県防災局の研修を受託するために任意団体として日本体験学習研究所を設立。
- 2012年 「プロセス・エデュケーションー学びを支援するファシリテーションの理論と実際」津村俊充著(金子書房)を出版。
- 2013年 「実践人間関係づくりファシリテーション」日本体験学習研究所監修(金子書房)を出版。
- 2015年 一般社団法人「日本体験学習研究所(Japan Institute for Experiential Learning: JIEL)」を設立。
- 2015年 ラーニングカフェ For Change スタート。
- 2017年 モリコロコ基金助成を受け「ESD スペシャリスト育成プロジェクト」を実施。
- 2017年 「つんつんのミニレクチャー 32講」DVD 4巻セット完成。
- 2018年 「インターベンション・スキルズ：チームが動く、人が育つ、介入の理論と実践」W. プレンダン・レディ(著)津村俊充(監訳)林芳孝・岸田美穂・岡田衣津子(訳)出版
- 2019年 JIEL WEB ページリニューアル
- 2019年 「改訂新版プロセス・エデュケーションー学びを支援するファシリテーションの理論と実際」津村俊充著(金子書房)を出版。
- 2019年 リフレクティング・グループを活用したTグループ(人間関係トレーニング)を新しく開催。
- 2020年 JIEL5周年記念大感謝祭、Tグループ体験記論集刊行。

● **NTLとは**

1946年夏の米国コネティカット州で開かれたワークショップ後、1947年にメイン州ベセルにて全米教育協会(National Education Association)や大学のいくつかの研究機関の協力のもと「集団発達に関するナショナル・トレーニング・ラボラトリー(National Training Laboratories in Group Development: NTLGD)」を開催したのがNTLのはじまりです。1963年まで全米教育協会の成人教育部門の教育機能を果たし、1967年にNTL Institute for Applied Behavioral Scienceと名称を変更し非営利組織として運営されてきています。

また、ラボラトリー方式の体験学習のコアプログラムとして70年ほどの長い間、Tグループを実施してきています。そのほかに、リーダーシップ開発やジェンダーやダイバーシティにかかわるワークショップ、組織開発に関わる多数のプログラムを開催しているラボラトリー教育の歴史ある機関です。

JIELの代表理事・所長である津村は、日本人としては初めてNTLのインターナショナルメンバーとして認定されて、日本でラボラトリー方式の体験学習の普及に努めています。



公開講座

教材開発

共に生きる社会の
創造をめざして

受託研修

コンサル
テーション

出版

研究会

2020-2021 プログラムガイド PROGRAM GUIDE

私たちのミッション

ラボラトリー方式の体験学習を通して

- ◎ かかわり合いの中でお互いが成長できる社会
 - ◎ 違いを認め、違いを活かす社会
 - ◎ 自分たちの力で変えていけると実感できる社会
- を創造します



一般社団法人
日本体験学習研究所

代表理事・所長：津村 俊充

〒468-0015 名古屋市天白区原 1丁目 2304
ライオンズマンション原 102 HCC 内
(地下鉄鶴舞線「原」駅1番出口)

電話&FAX (052) 804-1889
e-mail desk@jiel.jp
Website <https://www.jiel.jp>

◆地下鉄で来られる場合◆

地下鉄「原」駅の1番出口が最寄りとなります。第三銀行のあるスクランブル交差点を右折し道なりに進み、原郵便局の先を左折したところにある、レンガ色のライオンズマンション原の1Fです。
2番出口から出られた場合は、ファミリーマート沿いに進み、すぐに左折を直進すると原郵便局のある三叉路に出ます。



ごあいさつ

2015年4月に一般社団法人日本体験学習研究所 (Japan Institute For Experiential Learning: JIEL と略、ジャイエールと呼称) を設立しました。JIEL は「共に生きる社会の創造をめざして」、ラボラトリー方式の体験学習を中心とした活動を行っています。

ラボラトリー方式の体験学習とは「特別に設計された人と人が関わる場において、“今ここ”での参加者の体験(プロセス)を学びの素材として、体験学習の循環過程を活かして人間や人間関係を参加者とファシリテーターとが共に探求する学習」です(下図参照)。

特に、ラボラトリー方式の体験学習として生まれたTグループ(TとはTrainingの頭文字)をコア・プログラムと位置づけ、その発展的講座を多数開催しています。

地域の人々の暮らし、とりわけ人と人とのつながりを大切にしたい生活の創造をめざした基礎的な講座を開催しています。

学習者中心の学びの場づくりの実践、企業・組織・コミュニティにおいて一人ひとりが大切にされる組織活動やチーム活動の実践、また医療現場で医療従事者による最高のケアサポートの実現など、それぞれの現場での人間尊重を基盤としたラボラトリー方式の体験学習の応用実践研究を行っています。

JIEL が主催する各種公開講座をはじめ、体験学習実践研究会やラーニングカフェ For Change などへのご参加をお待ちしています。

皆様からのご要望にお応えし、医療現場、企業・組織内教育、コミュニティづくり、学校教育現場などでラボラトリー方式の体験学習の応用実践のコンサルティングも行っていきますので、WEBページなどを通してお気軽にご相談ください。

今後とも JIEL の活動へのご支援を心よりお願い申し上げます。

2020年4月1日
一般社団法人 日本体験学習研究所
代表理事・所長 津村 俊充

目次

ごあいさつ・目次	p.2
JIEL の主な活動	p.3
人間関係づくり入門	p.4
セルフサイエンス	p.5
共感でつながるアサーション	p.6
グループ・キャリアコンサルティング	p.7
教育プログラムのデザインと実践	p.7
ナラティブ・セラピーを学ぶ	p.8
チームや組織づくり入門	p.9
ラボラトリー体験学習基礎講座	p.10
Tグループ(人間関係トレーニング)	p.12
Tグループファシリテーター・トレーニング	p.16
グループプロセス・コンサルティング(GPC)	p.18
AIアプローチ基礎講座	p.20
AIアプローチ応用講座	p.21
地域づくり入門	p.22
インタープリター・トレーニング	p.24
ラーニングカフェ for Change & 体験学習実践研究会 & AIアプローチ実践研究会	P.25
受託研修(コンサルティング)	P.26
DVD教材 つんつんのミニレクチャー 32講	P.27
スタッフ紹介	P.28
受講申込	P.29
年間スケジュール	P.30~31

日本体験学習研究所 (JIEL) の主な活動

JIEL は、下記のミッションのもと活動を行なっています。

ラボラトリー方式の体験学習を通して

- ◎かかわり合いの中でお互いが成長できる社会
 - ◎違いを認め、違いを活かし合う社会
 - ◎自分たちの力で変えていけると実感できる社会
- を創造します。

JIEL では、信頼し合う人間関係の実現を目指した学びの継続が、2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発の目標(Sustainable Development Goals:SDGsと略)」の達成を促進すると考えています。

◎ 公開講座

2020年度、JIEL の活動を計画するに際して、「私の人生を生きる」「生き生きしたチームや組織づくり」「つながりのある地域づくり」の3つの柱を立てました。地域や組織で生きる人々がもつ潜在力や可能性をフルに生かし合える関係づくりを支援します。



公開講座の他に、交流から学ぶ場「研究会・学びのコミュニティ」、研究誌「体験学習実践研究」、受託研修やコンサルティングなどを行っています。

※上のチャートはあくまでも学びの目安です。関心のある講座から受講してください。

◎ 交流から学ぶ

「研究会・学びのコミュニティ」

- ◇ラーニング・カフェ For Change
- ◇体験学習実践研究会
- ◇AIアプローチ実践研究会
- ◇ナラティブ・コル

◎ 受託研修「コンサルティング」

ご依頼のテーマで研修をデザインし実施したり、各団体・機関の研修プログラム等のご相談をお受けします。

◎ 研究誌

「体験学習実践研究」発行

年に1回発行しています。



※ラボラトリー方式の体験学習では、グループワークなど体験(実習)をした後で、話題や課題の内容や結果である「コンテンツ」よりも体験の中で起こっていた気持ちや考えたことなど「プロセス」に光をあてふりかえります。そのデータをもとにファシリテーターと共に体験学習の循環過程を通して学びを深めます。この循環過程を繰り返すことで、変化・成長の螺旋的展開が生まれると考えています。

公開講座	入門講座	セルフサイエンス	共感でつながるアサーション	グループ・キャリアコンサルティング	教育プログラムのデザインと実践	ナラティブ・セラピーを学ぶ	チームや組織づくり入門	ラボラトリー体験学習基礎講座	Tグループ(人間関係トレーニング)	Tグループファシリテーター・トレーニング	グループプロセス・コンサルティング	AIアプローチ基礎講座	AIアプローチ応用講座	地域づくり入門	インタープリター・トレーニング	ラーニングカフェ for Change & 体験学習実践研究会 & AIアプローチ実践研究会	受託研修(コンサルティング)	DVD教材 つんつんのミニレクチャー 32講	スタッフ紹介	受講申込	年間スケジュール
------	------	----------	---------------	-------------------	-----------------	---------------	-------------	----------------	-------------------	----------------------	-------------------	-------------	-------------	---------	-----------------	--	----------------	------------------------	--------	------	----------

人間関係づくり入門

この入門講座では、私が「人生の主人公」として、どんな自分でも、自分を大切にしたいと考えています。「体験から学ぶ」ことを通して、「私はどんな人間なんだろう?」「私の特徴ってなんだろう?」「私は他の人へどのように影響を与えているのだろうか?」など、知っているようで実はあまり知らない「わたし」に出会う場としていきます。これからは私が「わたし」として生きていくために、自分のありようをそれぞれのワークを通して体験しながら学んでいきます。また、この場で出会った人とのかかわりから、お互いに自分を知るヒントをもらい、楽しみながら体験していただきます。

◆人間関係づくり入門

テーマ	第1回「私に出会う」	第2回「グループの中の私」
日程	2020年5月22日(金) 19:00~21:30	2020年8月7日(金) 19:00~21:30
担当者	鈴木 由子、他	鈴木 由子、他
定員	12名(最少催行人数5名)	
会場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889	
参加費	2,750円(2,500円+税)	

基礎講座	私の人間関係を探求する ファシリテーション	→ P.5 セルフサイエンス → P.6 共感でつながるアサーション
コア講座	Tグループ (人間関係トレーニング)	→ P.12 Tグループ(人間関係トレーニング)
実践講座	学びのプログラムの デザインと実践	→ P.7 グループ・キャリアコンサルテーション → P.7 教育プログラムのデザインと実践
展開講座	人と人のかかわりを考える	→ P.8 ナラティブ・セラピーを学ぶ
	研究会・ 学びのコミュニティ	→ P.25 体験学習実践研究会 → P.8 ナラティブ・コル

私の人間関係を探求するファシリテーション

セルフサイエンス

セルフサイエンスは、ヒューマニスティック・サイコロジカル・エデュケーションの一つの実践です。本講座では、米国マサチューセッツ大学においてJ. ウェインシュタイン教授らが体験学習のステップとして考案したトランペットセオリーにもとづいて開発した教育実践プログラムを紹介いたします。

セルフサイエンスの一つの目的は、自分自身の内的・外的な反応(感情・思考・行動)を学習者が内省・観察し、自分の対人行動パターンを見つけ出すことです。そして、その行動パターンを吟味することを通して新しい対人行動のレパートリーを広げていこうとすることがもう一つの目的です。

そのために、この講座では次のようなプログラムを体験し学んでもらいます。

- ①回目の講座では、「セルフサイエンス」コースの導入の小講義から始まり、トランペットモデルの紹介に引きつづき、自分の体験を語ることを学びます。
- ②回目の講座では、「TA(トランザクショナル・アナリシス:交流分析)」の自我状態の小講義から、自分の中にある「親の自我状態」「成人の自我状態」「子どもの自我状態」を理解します。ホームワークとして、「自分の行動パターン」を見つけて、特定のフォーマットに書き出してくることが課題になります。
- ③・④回目の講座では、持ってきた自分の行動パターンを明確にし、そのパターンの機能を探求します。そして、そのパターンがもっているクラッシャーを同定し、そのクラッシャーと相反する再方向付けを考え行動のプランを立てます。
- ⑤回目の講座では、参加者一人ひとりが考えた行動計画の実践評価を行います。

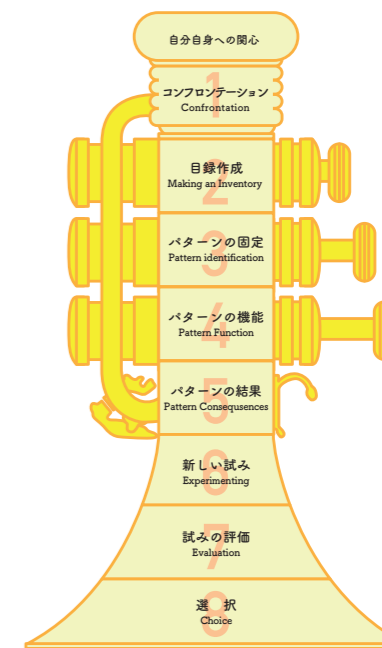
このようなことを目指している方にお薦めします

- ・ 日常生活で自分がどのように人とかかわっているかを探求してみたい人
- ・ 日常生活での人とのかかわり方を見直したい人
- ・ いつもやってしまうと思う行動パターンから抜け出したい人
- ・ 体験学習の「指摘」「意識化」「仮説化」を、とりわけ「分析」のステップをもう少しクリアーにしたい人
- ・ 自分と真剣に対峙してみたい人など

※参考テキストとして、「プロセス・エデュケーション〜学びを促進するファシリテーションの理論と実際〜」第5章「自己成長のセルフサイエンス」津村俊充著(金子書房)をおすすめします。

◆第2回セルフサイエンス

日程	① 2020年6月27日(土)10:00~17:00 ② 2020年6月28日(日)10:00~17:00 ③ 2020年7月18日(土)10:00~17:00 ④ 2020年7月19日(日)10:00~17:00 ⑤ 2020年10月17日(土)10:00~16:00 (16:00~18:00 交流会)
担当者	津村 俊充、他
定員	15名
会場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
参加費	受講料: 49,500円(45,000円+税)



人間関係づくり	公開講座
セルフサイエンス	
共通でつながるアサーション	
グループ・キャリア	
教育プログラムのデザインと実践	
ナラティブ・セラピーを学ぶ	
チームやグループづくり入門	
ラボラトリー体験	
Tグループ(人間関係トレーニング)	
Tグループ・ファシリテーション	
グループ・プロセス・セッション	
A1アフローチ	
A1アフローチ	
地域づくり入門	
オンラインファシリテーション	
交流から学ぶ	
受講研修	
DVD紹介	
スタッフ紹介	
受講申込	
年間スケジュール	

人と人のかかわりを考える



ナラティブ・セラピーを学ぶ

「ナラティブ・セラピーは、カウンセリングやコミュニティワークのなかで、敬意を示し、非難しないアプローチを実践し、それによって人々をその人生の専門家として中心に据えていくのだ」(ナラティブ・セラピーって何？アリス・モーガン)

人を問題の主たる責任者であると位置づけることを拒絶し、ものごとの「本当の真実」は存在せず、ただそのことを語るストーリーが存在するという立場を取ることで、そして、その人自身に自分の人生を生き抜いていくことのできる資質、資源、能力が必ず存在しているという仮説を持っていることなどがあげられるでしょう。つまり、その人には必ずや希望があるのだという信念を持っていること、と言ってもいいでしょう。(ナラティブ・セラピーの会話術、国重浩一)

ナラティブ・セラピーでは「人間や人間関係が問題ではなく、問題が問題なのだ」という前提に立ち、セラピストがクライアント(という名称も会話の中では使わない)と対等な立場で、会話をし、相談に来られた方が問題からどのような影響を受けているのか、その影響を受けていないユニークな体験を探し、その人の生きる意味やアイデンティティを探索する過程です。

このことは、ナラティブ・セラピーとそれを取り巻く理論に、「人は自分自身の目で自分を見られない」というのがあり、自分がどういふ人間かを鏡に映しているように見たかったら、他人の目を借りるしかないだろうというものです(国重談)。

他者との会話を通して自分の生き方を探す旅の行程を楽しむことも可能になります。

ワークショップでは、「自分がどのような人なのか」というアイデンティティを探索する旅をしたり、旅の同伴者になるためのありようを学びたいと考えています。

◆ナラティブ・セラピーを学ぶ

テーマ	第4回 「ナラティブ・セラピーとは(仮)」	第5回 「OW&R チーム(仮)」	第6回 「未定」
日程	2020年6月22日(月) 10:00～17:00	2020年7月6日(月) 10:00～17:00	未定(2020年秋頃)
担当者	国重 浩一	国重 浩一	国重 浩一
定員	20名(最少催行人数10名)		
会場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889		
参加費	9,900円(9,000円+税)		

国重 浩一

(日本臨床心理士、ニュージーランド・カウンセラー協会員) ナラティブ実践協働研究センター&ダイバーシティ・カウンセリングNZ
[主著]『ナラティブ・セラピーの会話術』(金子書房)



ナラティブ・コル(月一回 HCC で開催予定)

KORU(コル)とは、マオリ語でシダの新芽を指します。「新生」「成長」「力」「平和」の象徴だと言われています。Narrative Koru(ナラティブ・コル)とは、ナラティブ・セラピーのさまざまな可能性を感じ、学び合い、成長し合っていくコミュニティです。

※2020年度の開催日程はJIELのWEBページをご覧ください。

生き生きとした チームや組織づくり

社会環境の急速な変化に伴い、働く人の多様化、仕事の複雑化、生産の迅速化への対応など企業組織にも変化が求められてきています。その中であって、チームや組織で働く人々がいかに生き生きと働き、アイデアなどを創発し合うチームや組織になり、自由かつ自律的に動き出すチームや組織づくりを実現するために、いかにそれらを促進するかを学ぶことが急務になってきています。



チームや組織づくり入門

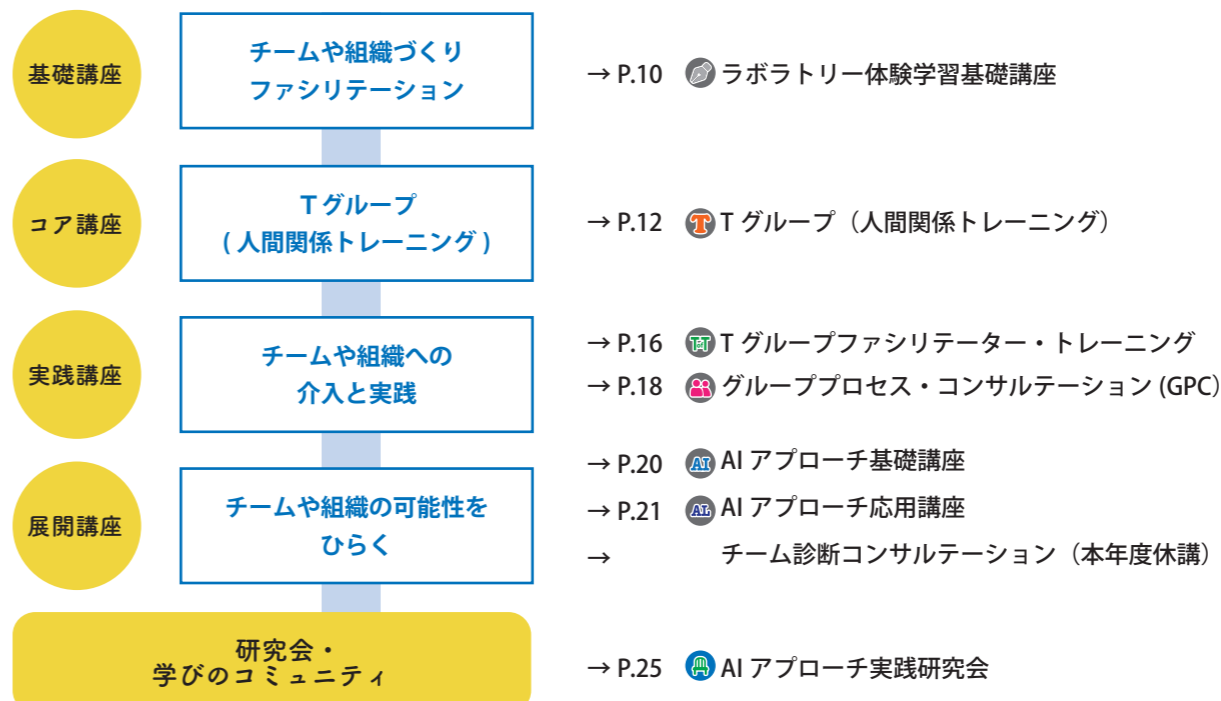
自身が所属する組織に、または外部から組織に関わり支援することについて学ぶ入門講座です。入門講座では、チームや組織作りをするために、特に対話型組織開発に取り組むにあたって支援者や促進者としての在りようや関わり方について、組織支援の現場の実際のケースを含むディスカッションや対話プログラムを通じてともに探求します。

このようなことを目指している方にお勧めします

- ・ 内部実践者として、または外部支援者として組織開発に関わる人、関わりたいと思っている人
- ・ 「組織を支援するとは何か？」の手がかりや新たな視点を得たい人
- ・ 支援者としての自己を見つめたり、更に深く学びたいと思っている人

◆チームや組織づくり入門

テーマ	第1回 支援者のマインドセット	第2回 チーム・組織づくりにエントリーする
日程	2020年4月25日(土) 13:30～16:30	2020年6月6日(土) 13:30～16:30
担当者	垣内 芳文、他	垣内 芳文、他
定員	12名(最少催行人数5名)	
会場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889	
参加費	3,300円(3,000円+税)	



公開講座

- 入門 人間関係づくり
- セルフサイエンス
- 共通のつながる アサーション
- グループワーク コラボレーション
- 教育プログラムのデザインと実践
- ナラティブ・セラピーを学ぶ
- チームや組織づくり入門
- ラボラトリー体験学習基礎講座
- Tグループ(人間関係トレーニング)
- Tグループファシリテーター・トレーニング
- グループプロセス・コンサルテーション(GPC)
- AIアプローチ基礎講座
- AIアプローチ応用講座
- 基礎講座 AIアプローチ
- 応用講座 AIアプローチ
- 地域づくり入門
- オンラインファシリテーション
- 交流から学ぶ
- 受託研修
- DVD紹介
- スタッフ紹介
- 受講申込
- 年間スケジュール

チームや組織づくりファシリテーション



ラボラトリー体験学習基礎講座 ～プロセスから学ぶ私の人間関係～

グループワーク体験を通して、自己理解・他者理解・コミュニケーション・チームづくり・リーダーシップなどを学ぶ基礎講座

仕事や課題に取り組む日常のグループ活動では、その仕事や課題の内容や結果（コンテンツとよびます）に焦点が当たりがちです。その活動で、一人ひとりのメンバーやお互いの関係の中で起こっていること（気持ちや考えていることなどをプロセスとよびます）にも目を向け、それらを生かすことができれば、個人の思いが大切にされるグループになり、グループは成長し、仕事や課題が充実した結果になると共にグループメンバー一人ひとりの成長も可能となります。

この講座は、一日目にコミュニケーションプロセス、二日目にグループプロセスに焦点を当て、ラボラトリー体験学習の基礎的なモデルや理論を紹介しながら、参加者の体験を通して個人やグループの中で起こるプロセスを観る視点を学びます。さらには、グループの中での私やグループダイナミクスに気づき、グループや私が成長するヒントを学ぶ基礎講座です。

＜こんなことが学べます＞

- ラボラトリー方式の体験学習による学びの基礎的な考え方と具体的な進め方について体験を通して理解が深まります
- グループワークをおこなう過程で生まれるプロセス（メンバーの参加の仕方、コミュニケーションのありよう、意思決定、リーダーシップなど）に気づくことができます
- グループ・ファシリテーターとして実践する際の自分のありよう（他者との関わり方、チームの中での自分の影響など）について、自ら気づくとともに、メンバー相互にフィードバックをしあうことを通して、学ぶことができます

このようなことを目指している方にお勧めします

- ・ ラボラトリー方式の体験学習を基礎から学んでみたい人
- ・ グループワークによる体験学習やアクティブラーニングなどのグループダイナミクスを生かした学びの場を提供しようとされている教育関係者
- ・ 日常生活での人とのかかわり方を見直したい人
 - ・ 学校教育関係者 ・ 企業内研修担当者 ・ カウンセラー
 - ・ キャリアコンサルタント ・ 組織開発 (OD) コンサルタント
 - ・ 人と人のつながりを創ろうとされている方 その他

参加者の声

- ・ グループの中で、自分が人とどのようにかかわろうとしているかを捉えることができた。新たな課題も見えた気がする。
- ・ 体験的に、グループプロセスについて学ぶことができた。素敵な仲間と出会うことが出来た。
- ・ 現場で使える材料が増えた。
- ・ 体験と理論を丁寧に学ぶことができた。
- ・ どちらかという、ワーク（体験）よりも理論を学びたかったのですが、ワークがあることで、理解が深まったと思います。
- ・ 少人数でしたが、多様な方と出会い、理論と実習を学べ、プロセスをじっくり味わうことができました。
- ・ グループ・ダイナミクスの全体像が知れた。グループと自分の関係性にしっかり目を向けることが出来た。
- ・ 丁寧なふりかえりを通して、自分がグループの中でどのような役割を果たしていたか、意識・無意識の両面から理解することができた。また、他者の行動、思考のふりかえりからも、気づきを得ることが多くあった。
- ・ 仕事上での自分の態度や発言のふりかえりと改善に役立ちそう。
- ・ 自分と他の人との関わりについて、深く学べたことは大変意味がありました。
- ・ 「チームをつくること」これからの自分のミッションになりました。

＜定員・参加費（各回共通）＞

定員：各回 18名

参加費：2日間通し参加 23,100円（21,000円＋税）

土日どちらか1日のみ参加 14,300円（13,000円＋税）

担当者：津村 俊充 他

第19回【名古屋開催】

日程	2020年6月20日（土）9:30～17:30 2020年6月21日（日）9:30～17:30
会場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889

第20回【長野開催】

日程	2020年8月29日（土）9:30～17:30 2020年8月30日（日）9:30～17:30
会場	未定

第21回【東京開催】

日程	2020年10月24日（土）9:30～17:30 2020年10月25日（日）9:30～17:30
会場	(株)みくに出版 セミナールーム 〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2丁目3-14 日能研恵比寿ビル

第22回【大阪開催】

日程	2020年11月14日（土）9:30～17:30 2020年11月15日（日）9:30～17:30
会場	(株)ソリューション セミナールーム 〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町4-7-5 本町ハイエストビル3階

第23回【福岡開催】

日程	2021年2月6日（土）9:30～17:30 2021年2月7日（日）9:30～17:30
会場	(株)ソリューション 福岡オフィス 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-17-21 ライジング・サンソーラービル3階

プログラムの例

一日目：「コミュニケーションプロセスから学ぶ」	
9:30	挨拶： チェックイン（自己紹介） 私の体験を語る「コンテンツとプロセス」 実習1 「流れ星」実習とふりかえり インタビューとコメント
12:00	小講義「コミュニケーションのプロセスとは」 昼食
13:00	実習2 「きく」実習とふりかえり&インタビューとコメント 小講義「援助的なかかわりに大切なコミュニケーション」 実習3 「コンセンサス実習」実習とふりかえり インタビューとコメント
17:00	チェックアウト

二日目：「グループプロセスから学ぶ」	
9:30	挨拶： チェックイン（自己紹介） 私の体験を語る「コンテンツとプロセス」 実習1 「ミニグループワーク」実習とふりかえり インタビューとコメント
12:00	小講義「グループのプロセスとは」 昼食
13:00	実習2 「問題解決実習」実習とふりかえり&インタビューとコメント 小講義「JOHARIの窓：フィードバックの留意点」 実習3 「タワービルディング」実習とふりかえり インタビューとコメント
17:00	チェックアウト



改訂新版 プロセス・エデュケーション
～学びを支援するファシリテーションの理論と実際～

津村 俊充 著 金子書房

- B5版並製 286頁 ● 定価 3,190円（本体 2,900円＋税）
- 2019年7月10日発行 ● ISBN-13:978-4760832743

組織・企業内の教育や組織開発に関わるコンサルタント、学校教育現場の教員、看護・医療・福祉などの領域の教育担当者をはじめリーダー、キャリアコンサルタントやカウンセラーの方々が、一人ひとりのコミュニケーション力やファシリテーション力、リーダーシップ力、など幅広く人と人がかかわり学び合い、成長し合う関係づくりの場づくりのための基本的なファシリテーションの理論と実際を詳解した書籍です。改訂新版になり、体験学習の循環過程やグループプロセスの氷山図について多様な視点からの解説を行なっています。その他、グループワークの誕生からTグループの具体的な実際まで、またさまざまな体験学習のための教材とその進め方などのヒントが満載の一冊です。

公開講座	入門（基礎づくり）	セルフサイエンス	共通のつながり	グループワーク	教育プログラムの	オンライン	チームづくり入門	ラボラトリー体験	Tグループ	Tグループ	グループプロセス	A1アプローチ	A1アプローチ	地域づくり入門	オンライン	交流から学ぶ	受託研修	DVD紹介	スタッフ紹介	受講申込	年間スケジュール
------	-----------	----------	---------	---------	----------	-------	----------	----------	-------	-------	----------	---------	---------	---------	-------	--------	------	-------	--------	------	----------

Tグループ(人間関係トレーニング)

Tグループ(人間関係トレーニング)

私たちはグループや組織の中で生きています。それは家族であったり、会社や学校といった職場であったり、プライベートな仲間同士、地域の人たちとのつながりであったりします。“わたし”とは違うさまざまな人たちが集まって、その組織が成り立っています。違いがあるのはわかっているけど、その違いで悩んだり、苦しんだり、人を責めたりします。その違いを認め、生かしたい、互いの尊厳を大切に、信頼関係を築き上げることができたら、私たち一人ひとり、そして私たちが生きるこの社会はより幸せなものになるのではないのでしょうか。

Tグループ(Tはトレーニングの略)とは、1947年から始まった、人間理解やリーダーシップなど相互にどのように影響し合っているかなどを“今ここ”での体験を通して、参加者一人ひとりのありようやグループダイナミクスを、またリーダーシップを発揮することなどを探究する学びの場です。ラボラトリー・トレーニングとか、ラボラトリー方式の体験学習と呼ばれるのは、1947年にスタートしたTグループが、「Human Interaction Laboratory In Group Dynamics」と呼ばれたことによります。

Tグループは、狭義にはTグループ・セッションを指します。広義には、参加者全員とスタッフを含めたラーニング・コミュニティとして学び合う宿泊研修のプログラム総体をTグループと呼んでいます。広義の合宿形式のTグループ・プログラムは伝統的に以下の4つのプログラム要素を用いてデザインされます。

- ① Tグループ・セッション(対話による非構成的グループ体験)
- ② 実習教材を用いた構成的グループ体験
- ③ モデルや理論の紹介による概念化を促進するミニレクチャー
- ④ チェックリストやふりかえり用紙を用いたツールの使用

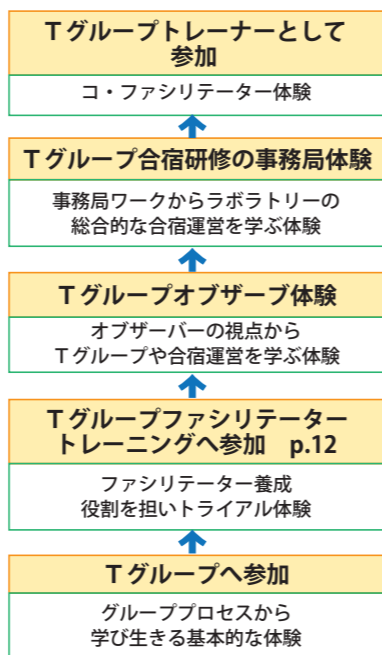
Tグループ・セッションでは、特に決められた課題や手続きはなく、参加者は自由に対話を続け、その場に生まれてくる人間関係(プロセス)を学習の素材として探求します。その過程で、自己理解、他者理解、受容、共感、影響関係、コミュニケーションやグループダイナミクスなど、人間関係のさまざまなことに気づき学んでいくことができます。

JIEL主催のTグループは、歴史ある哲学と学習方法を踏襲し、伝統的な5泊6日の期間の実施にこだわり、「一人ひとりを尊重し、人々とのつながりが生まれ、共に生きること」を探求するラボラトリー・トレーニングの実現をめざしています。

Tグループは、JIEL主催のすべての公開講座のコア・プログラムです。どのプログラムよりも先にご参加されることをお勧めします。

※このトレーニングでは、各セッションでの話し合いの録音やふりかえり用紙を、グループ内での共有の学習素材とするために、同意書の提出が求められます。また、心的葛藤やストレスを経験することもありますので、現在身体的あるいは精神的な治療のための通院やカウンセリングを受けておられる方は、担当の医師やカウンセラーとご相談の上、ご承認のもとお申し込みください。ご不明な点は当研究所にご相談ください。

※Tグループファシリテーター(トレーナー)の学びのステップを修了したとしても、必ずしもコ・ファシリテーターを体験することを確約するものではありません。



Tグループファシリテーター(トレーナー)を目指す方の学びのステップ

<日程例>

2018年度 JIEL 第8回 Tグループ

2018年6月2日~7日開催

6月2日(土)	6月3日(日)	6月4日(月)	6月5日(火)	6月6日(水)	6月7日(木)
7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30
8:30	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食
9:00	T2 各グループ室	T6 各グループ室	T9 各グループ室	T12 各グループ室	9:15 全体会(6) 「現場に向けて」
10:15	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	全体会室
10:30	休憩	休憩	休憩	休憩	11:00
11:00	T3 各グループ室	T7 各グループ室	T10 各グループ室	T13 各グループ室	閉会 全体会室
12:15	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	12:00
12:30	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食
14:00	自由	自由	自由	自由	13:00
14:30	15:00 全体会(1) 「私の窓」	14:30	14:30	14:00	全体会(5)-1 「Tグループのふりかえり」
15:00	15:45 全体会(2) 「少人数で分かち合う」	15:00	15:00	15:00	全体会(5)-2 「Tグループのふりかえり」
15:45	休憩	15:45	15:45	15:45	全体会(5)-2 (つづき)
16:00	T4 各グループ室	16:00	16:00	16:00	各グループ室
17:15	ふりかえり用紙記入	17:00	17:00	17:00	21:00
17:30	自由	自由	自由	自由	夜のつどい(5)
18:00	夕食	18:00	18:00	18:00	21:10
19:15	T1 各グループ室	19:15	19:15	19:15	21:25
20:30	ふりかえり用紙記入	20:30	20:30	20:30	22:30
20:50	夜のつどい(1)	20:45	20:45	20:45	
21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	
21:20	21:20	21:20	21:20	21:20	

参加者の声(アンケートより)

Tグループ参加後:

- かかわりを持つことで、自分も成長できて、相手にも成長のきっかけを与えているということも気づきました。
- 自分自身が大切にしたい価値観、人と人との関係性、かかわり方の癖に気づいた。
- 人の輪にしながらの温かい感覚。人と向き合うことの難しさを学んだ。
- 様々な価値観と環境の違うメンバーと共に過ごし、そこに生まれていく温かさと思いやり、認めあえる場ができていくことを1つ1つ体験することができ、日常にもおこせるんだと思いました

Tグループフォローアップ参加後:

- 皆に会えること、ふりかえりのためにきちんと時間を取り、それを共有できることに価値があると感じた。
- これからの自分について考え、言葉などで表現する機会を得られた。3か月を経てのTグループとそのつながりの大きさを実感した。他者の意見が聞け、触発されるものがあった。
- 意味づけをしていたつもりでしたが、グループでふりかえることで新たなTグループの影響に気づかされました。

公開講座

入門(基礎づくり)

セルフサイエンス

共通でつながる
アサーション

グループダイナミクス

教育プログラムの
デザインと実践

セラピーを学ぶ

チームづくり入門

ラボラトリー体験
学習意欲講座

Tグループ
(人間関係)

Tグループ
ファシリテーター
トレーニング

グループプロセス
セッション
(DVD)

A1
アプローチ

A1
アプローチ

地域づくり入門

インストラクター
トレーニング

交流から学ぶ

受託研修

DVD紹介

スタッフ紹介

受講申込

年間
スケジュール

Tグループは、私たちが豊かな社会生活を送るために必要な、感受性や人間関係づくりの資質を磨くことができる最良の場の1つです。キャリアコンサルタントは、個人のキャリア発達を支援する専門家であり、言い換えれば、1人ひとりのクライアントが、より充実した人生を送るための手伝いをする存在ですが、だからこそ、まずは自分自身が「人に関わる力」をしっかりと養う必要があります。多くのキャリアコンサルタント、キャリア開発支援者が参加されることを願っています。

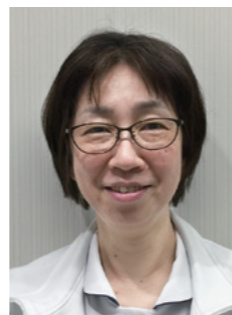
キャリアコンサルティング技能士会 副代表幹事 文川 実



看護師は、患者・家族さん、院内外が多職種とコミュニケーションなしでは、成立しない仕事です。難しい場面も多く、現場をよくする+αはないか、とTグループに参加しました。

初めて出会う仲間と、対話し、観察し、仮説を立て、振り返りを続けました。それを続けていくことは、苦痛でもあり、驚きや発見もあり、時に楽しく、不思議な時間でした。見えてきたのは、“自分のありよう”です。気持ちや出した言葉、態度は、他者に影響を与え、自分に戻ってきます。Tグループを終え、“対応する人や集団がどのような状況か”、“私自身はどのようなか”を問い続け、Tの学びを思い出しながら、個と場と“いま、ここ”を大切に、臨床で働いています。

看護師・助産師（母性看護専門看護師）峰 博子



Tグループに出会ってから私が体験する世界が異なって見えるようになってきました。それは今までの日々変化しています。何故かと考えると、Tグループでは、自分の源に繋がって本当の声を聴き、それを表現することを徹底的にトレーニングするからだと思っています。

Tグループを初めて体験してから約1年後に大きな気づきがありました。それは私が見ている世界は私の中で創り上げているという実感を得たことです。自分の本当の感情を観察し続けると、外界の事実と自分の感情がだんだん区別できるようになるからです。そして、自分の偏った解釈の癖が分かってきます。今でも解釈にまみれていますが、徐々に理解が深まっていると感じます。

組織開発やコーチングの仕事をしている方は、場の見立てをする時や関わる時に、自分の解釈や感情の癖を知っておくことは非常に有益だと思います。

経営コンサルタント・コーチ (ORSCC/CPCC) 黒田俊介



私はエンジニアとしてメーカーに勤務するサラリーマンです。私がTグループ体験から学んだことは、普段の仕事の中では見過ごされていることや大切に扱われていないことに、関心をもつことの大切さです。

日々、人とのかわりの中の仕事を行い、「今、ここにいる自分自身の気持ちに気づくこと」、「今、目の前にいる相手の想いや気持ちに寄り添うこと」、「今、目の前にいる相手と自分との関係の中で起きていることに気づくこと」、「仕事の成果だけでなく、そのプロセスにも目を向けること」を意識するようになりました。多くの人がTグループに参加することで、それぞれの会社の中で今よりも一人一人がイキイキと働けるようになることを願っています。

会社員 エンジニア 秋山 善克



南短ニカン(南山短期大学人間関係科の略)時代に受けたTグループでの体験は未消化のまま、敢えて整理するでもなくそのままにあの時のあの感覚を40年近く連れて歩いてきました。2016年6月Tグループに再び参加し、人との関わりの中で自分の生の気持ちや思い、ふっと出た行動を自分自身が受けとめることが如何に大切か。また受けとめることの難しさが身にしみて痛かった。2回のTグループでの体験で、私という存在、あり様を常に問われているのだと感じています。私が学びたかったものは何かの方法では決してなく、自分を毎日の生活の中で活かすことから人との関わりが始まると信じる心のようなものです。そして今、私は、森のようちえんの子ども達、家族を介護する人達を支援したいと動いています。

主婦 ボランティアとして活動中 園木 紀子



◆ 第15回Tグループ (人間関係トレーニング)

日程	2020年5月30日(土) 14:00受付 14:30開会 5泊6日 2020年6月4日(木) 13:00解散 (清里駅行きバス 13:30出発)
	Tグループ・フォローアップ 2020年9月6日(日) 10:00~16:00 ヒューマンコラボレーションセンター HCC
担当者	津村 俊充、他
定員	18名
会場	(財)KEEP協会 清泉寮 〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545 TEL 0551-48-2111
参加費	受講料：89,100円 (81,000円+税)
滞在費	74,000円(税込)(予定)(ツイン利用：宿泊・食事・会場費含む) 94,000円(税込)(予定)(シングル利用：宿泊・食事・会場費含む)

◆ 第16回 Tグループ (人間関係トレーニング)

日程	2020年10月10日(土) 14:00受付 14:30開会 5泊6日 2020年10月15日(木) 13:00解散 (木曽福島駅行きシャトルバス 13:15出発)
	Tグループ・フォローアップ 2021年1月17日(日) 10:00~16:00 ヒューマンコラボレーションセンター HCC
担当者	津村 俊充、他
定員	10名
会場	(公益財団法人)おんたけ休暇村 〒397-0201 長野県木曾郡王滝村 3159-25 TEL 0264-48-2111
参加費	受講料：89,100円 (81,000円+税)
滞在費	74,000円(税込)(予定)(ツイン利用：宿泊・食事・会場費含む) ※公共の施設のため基本的にツイン利用をお願いしています。シングルを希望される場合は別途お申し出ください。

◆ 第17回Tグループ (人間関係トレーニング)

日程	2020年12月5日(土) 14:00受付 14:30開会 5泊6日 2020年12月10日(木) 13:00解散 (清里駅行きバス 13:30出発)
	Tグループ・フォローアップ 2021年3月7日(日) 10:00~16:00 ヒューマンコラボレーションセンター HCC
担当者	津村 俊充、他
定員	18名
会場	(財)KEEP協会 清泉寮 〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545 TEL 0551-48-2111
参加費	受講料：89,100円 (81,000円+税)
滞在費	74,000円(税込)(予定)(ツイン利用：宿泊・食事・会場費含む) 94,000円(税込)(予定)(シングル利用：宿泊・食事・会場費含む)

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通じた学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。

※滞在費は現在、施設と交渉中です。多少の変更があるかもしれません。

人間関係トレーニング 第2版
～私を育てる教育への人間科学的アプローチ～



津村俊充・山口真人編 ナカニシヤ出版
●B5版並製 206頁
●定価 2,420円(本体 2,200円+税)
●2005年4月1日発行

人間関係を教育・訓練する体験学習をわかりやすく解説する大ベストセラーの改訂版。自殺やひきこもりの増加など様々な問題が深刻化する中、地域社会の支援活動や学校教育における人間関係トレーニングなど、現代社会のニーズに対応

人間関係づくり	公開講座
セルフサイエンス	
共通のつながり	
グループ・キャリア	
教育プログラムの	
デザインと実践	
オンライン・セミナー	
チームや組織づくり入門	
ラボ・体験講座	
Tグループ (人間関係)	
Tグループ・アシスタント	
グループ・プロセス	
基礎講座	
A1アプローチ	
A2アプローチ	
地域づくり入門	
オンライン・セミナー	
交流から学ぶ	
受託研修	
DVD紹介	
スタッフ紹介	
受講申込	
年間スケジュール	

チームや組織への介入と実践

Tグループファシリテーター・トレーニング

本講座は、Tグループ(5泊6日)の参加経験のある方を対象とした、Tグループファシリテーター(トレーナー)の介入とありようを学ぶ講座です。

2020年度より、ベーシック講座とアドバンス講座を開催します。

○ベーシック講座

参加者がTグループファシリテーター(トレーナー)、オブザーバー、参加者の役割を交互にとり、トレーナーの介入(関わり方)を巡ってふりかえりをしながら、Tグループ体験を積み重ねていきます。グループメンバーとトレーニングスタッフが全員でトレーナーの介入を吟味します。また、レクチャーセッションも朝夕に行い、Tグループや介入にかかわる視点も諸モデルから学びます。グループに働きかける視点や介入の言葉かけのレパートリーを広げると共に、トレーナーとしてのありようを学びます。

○アドバンス講座

ベーシック講座を参加された方を対象に開催します。リフレクティング・グループを活用して、グループへの関わり方の軸となるものを参加者と共に探求します。ベーシック講座と同様に、トレーナー、オブザーバー、参加者の役割を交互にとりながらセッションを進めます。ただ、ふりかえりのセッションで、二人のトレーナー役のメンバーにそれぞれ半数のメンバーが割り当てられたトレーナーの介入に対してリフレクティング・グループとして、自分自身が影響を受けたり学んだりしたことを語ります。それらを、聞くことを通して、トレーナー役の人が何を大切にしているグループやメンバーと関わっていたかを深く内省することから学ぶことをねらいとした講座です。

※本講座は今年度から開講されますが、これまでのJIEL主催のTグループファシリテーター・トレーニングにご参加頂いている方が優先に受講できます。

参加者の声(アンケートより)

- 自分のグループへのかかわり方を通じて、自分の人間関係へのアプローチに気づかされる経験を得ました。Tグループに対する経験値が異なる方がいたのも良かったです。
- メンバー同士で学び、プログラムからも学び、清里の自然にも教えてもらい、最高の体験でした。
- 人と真剣に関わること=人を信じることを確信することができました。日常では、薄らいでいく、自分の核を磨くことを続けたい。
- トレーナーとしての視点は、Tグループ以外のあらゆるトレーニングに応用できると感じたのでとても有意義だった。
- ファシリテーターの技術としても、自己理解という意味でも学ぶことが多かった。

◆第1回Tグループファシリテーター・トレーニング(アドバンス講座)

日程	2020年7月23日(木) 14:00 受付 14:30 開会 4泊5日 2020年7月27日(月) 16:00 解散
担当者	津村 俊充、他
定員	10名
会場	(公益財団法人)おんたけ休暇村 〒397-0201 長野県木曾郡王滝村 3159-25 TEL 0264-48-2111
参加費	受講料: 91,080円(82,800円+税)
滞在費	62,000円(税込)(予定)(ツイン利用: 宿泊・食事・会場費含む) ※公共の施設のため基本的にツイン利用をお願いしています。シングルを希望される場合は別途お申し出ください。

※本講座は今年度より開催されますが、JIEL主催のTグループファシリテーター・トレーニングにご参加されていることを参加の基礎資格とさせていただきます。

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通じた学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。

※滞在費は現在、施設と交渉中です。多少の変更があるかもしれません。

※このトレーニングでは、グループでの話し合いの録音やふりかえり用紙を、グループ内での共有の学習の素材とするための同意書の提出が求められます。また、心的葛藤やストレスを経験することもありますので、現在身体的あるいは精神的な治療のための通院やカウンセリングを受けておられる方は、担当の医師やカウンセラーとご相談の上、ご了承のもとお申し込みください。ご不明な点は当研究所にご相談ください。

2018年度 JIEL第4回Tグループファシリテーター・トレーニング

<日程例>		2018年12月8日~12日開催				
	12月8日(土)	12月9日(日)	12月10日(月)	12月11日(火)	12月12日(水)	
		7:30 朝食	7:30 朝食	7:30 朝食	7:30 朝食	
		8:30 モーニングセッション①	8:30 モーニングセッション②	8:30 モーニングセッション③	9:00 モーニングセッション④	
		9:00 全体会(2)	9:00 全体会(3)	9:00 TTS7	9:30 全体会(5-1)	
		9:30 TTS2	「あなたならどうする?」	9:50 ふりかえり用紙記入	「気づき・学びを用いたモデルづくり」	
		10:20 ふりかえり用紙記入		10:20 フィードバック・タイム		
		10:40 フィードバック・タイム				
		11:40	「役割決め」			
		12:00 昼食	12:00 昼食	12:00 昼食	12:00 昼食	
		13:00 自由	13:00 自由	13:00 自由	13:00 全体会(5-2)	
14:00	受付		14:00 全体会(3)	14:20 TTS8	14:00 全体会(6)	
14:30	開会		「グループダイナミクスへの働きかけについて」	14:20 ふりかえり用紙記入	「現場に向けて」	
	全体会(1)	15:00 TTS3	15:00 TTS5	14:50 フィードバック・タイム		
	「ねらいづくり」	15:50 ふりかえり用紙記入	15:50 ふりかえり用紙記入	15:50 休憩		
	「TTSの進め方」	16:20 フィードバック・タイム	16:20 フィードバック・タイム	16:30 全体会(4-1)		
	「役割決め」	17:20 休憩	17:20 休憩	「全体のふりかえり」		
18:00	夕食	18:00 夕食	18:00 夕食	18:00 夕食		
19:15	TTS1	19:15 TTS4	19:15 TTS6	19:15 全体会(4-2)		
20:05	ふりかえり用紙記入	20:05 ふりかえり用紙記入	20:05 ふりかえり用紙記入	「全体のふりかえり」		
20:25	フィードバック・タイム	20:25 フィードバック・タイム	20:25 フィードバック・タイム	21:00 ナイトショートセッション④		
	ナイトショートセッション①	21:30 ナイトショートセッション②	21:30 ナイトショートセッション③	21:20 コミュニティアワー		
21:50	ジャーナル記入	21:50 ジャーナル記入	21:50 ジャーナル記入			

※TTSとは、「トレーナー・トレーニング・セッション」の略称です。TTSではTグループを行い、メンバー、トレーナー、オブザーバーを相互に体験し、ふりかえり用紙の記入とフィードバックを行います。

◆第6回 Tグループファシリテーター・トレーニング(ベーシック講座)

日程	2021年2月20日(土) 14:00 受付 14:30 開会 4泊5日 2021年2月24日(水) 16:00 解散
担当者	津村 俊充、他
定員	16名
会場	(財)KEEP協会 清泉寮 〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545 TEL 0551-48-2111
参加費	受講料: 91,080円(82,800円+税)
滞在費	62,000円(税込)(予定)(ツイン利用: 宿泊・食事・会場費含む) 78,000円(税込)(予定)(シングル利用: 宿泊・食事・会場費含む)

※本講座は、5泊6日のTグループ(人間関係トレーニング)に参加されていることを参加の基礎資格とさせていただきます。

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通じた学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。

※滞在費は現在、施設と交渉中です。多少の変更があるかもしれません。

チームや組織の可能性をひらく

AI AIアプローチ基礎講座～4Dサイクルを体験し学ぶ～

Appreciative Inquiry(AI)とは、個人、グループ、組織といったシステムの中に現在もっている「生き生き輝くエネルギーを与える力(Life-giving forces)(ポジティブ・コア)を見つけ出すことから始め、個人、グループ、組織の変革をめざすアプローチです。ポジティブ・コアを探求し、そのポジティブ・コアが最大化された未来(夢)を描き、その実現に向けてメンバー相互に協働的なかかわりが生まれる、参加型のアプローチです。

この講座では、AIとはどのようなものかを体験を通して学ぶとともに、参加者みなさんが現場でどのように活かしているか探っていきたくて考えています。特に、できる限り、4Dサイクルを体験する生の現場に、講座の場になることを願っています。そのために、学びが持続する学習共同体(ラーニングコミュニティ)を創りたいという意思のある方にお集まりいただきたいと思っています。合宿研修で行いますので、参加者同士の交流も深まる得がたい機会になるでしょう。

また、これまでの本講座に参加されたみなさまは、その後もAIアプローチ実践研究会として学びの場を継続しています。

おおまかなプログラムの流れ

一日目		二日目	
9:30	受付	9:00	DREAM(1) 最高の未来像のインタビュー
10:00	開会 導入：研修のねらいの確認・生活の案内 「OD(組織開発)とは」「AIアプローチとは」	12:00	DREAM(2) コミュニティの未来を表現 DREAM(3) プレゼン&全体で共有
12:00	DISCOVERY(1) ハイポイントインタビュー		昼食
	昼食	13:00	DESIGN(1) エレメントの探究 DESIGN(2) 喚起的声明文の作成 DESTINY 声明文を創ったグループでプロジェクトを考える
13:00	DISCOVERY(2) ストーリーの共有 DISCOVERY(3) 私たちのポジティブコアの探求		全体のふりかえり
18:00	夕食	17:00	閉会
19:00	交流会		

※本講座の参加に際して、JIELのTグループ(人間関係トレーニング)を修了されている方におすすめします。

参考テキストを挙げておきます。

※ポジティブ・チェンジ 主体性と組織力を高めるAI

ダイアナ・ホイットニー&アマンダ・トロステンブルーム(著) 高間邦男(監訳) ヒューマンバリュー(2006)

※AI「最高の瞬間」を引き出す組織開発 未来志向の“問いかけ”が会社を救う

デビッド・L・クーパーライダー&ダイアナ・ホイットニー(著) 本間正人(監訳) PHP研究所(2006)

◆第8回 AIアプローチ基礎講座

日程	2021年1月23日(土) 9:30 受付 10:00 開始 1泊2日 2021年1月24日(日) 17:00 終了
担当者	津村 俊充
定員	24名
会場	南山学園研修センター 〒460-0934 名古屋市昭和区広路町単人30(地下鉄いりなから駅から徒歩6分) TEL052-837-6466
参加費	受講料 33,680円(30,600円+税)
滞在費	10,000円(税込) 予定(宿泊費、食費、会場費を含む)

※宿泊型のプログラムのため、上記施設にご宿泊いただけます。宿泊施設はシングルルームですが、お風呂とトイレは別です。
※参加者のコミュニティづくりを目指したグループワーク体験による学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。
※滞在費は、参加者数により変動する可能性があります。

参加者の声(アンケートより)

- AIの一連の体験・体感ができ、新しい出会い、つながりができた。
- AIの構造や進め方というより本当の部分がわかった気がします。
- AIの知識、体験のみならず、たくさんの人の価値観や思いに触れられた。
- 勉強したというより、人生経験を高めることができたという感じ。

チームや組織の可能性をひらく

AI AIアプローチ応用講座 ～アプリシエイティブ・リーダーシップを学ぶ～

本講座はJIEL主催のAIアプローチ基礎講座に参加された方を対象にしたアドバンス講座です。津村が2016年より「AIアプローチ」をベースに、リーダーシップ研修を東京女子医科大学の看護師対象に、3泊4日で実施しているプログラムをベースにアプリシエイティブ・リーダーシップについて紹介しながら、アプリシエイティブ・リーダーシップ養成のプログラムをナラティブ・セラピーの考え方や手法と重ねながら体験して学びます。

おおまかなプログラムの流れ

1日目		2日目		3日目	
午前	開会 ねらいの明確化と共有化 「私の窓」	午前	東京女子医科大学のプログラムの紹介 小講義「グループプロセスを観る」 実習「POPO」① リフレクティング・トーク	午前	組織実習「グリーティングカード」
午後	小講義「AIアプローチのレビュー」 小講義「アプリシエイティブ・リーダーシップとは」 実習「リフレクティング・チーム」	午後	実習「POPO」② リフレクティング・トーク 実習「私のポジティブ・コアの探究」 実習「グループのポジティブ・コアの探究」	午後	現場に向けて 現場での活用を考える 閉会
夜	小講義「ナラティブ・アプローチとは」 AIアプローチとナラティブ・アプローチの重なり	夜	実習「アプリシエイティブ・リーダーとして活躍している未来像の探究」		

ご参加に際し、ご自身の現場でのリーダーとしての課題や問題をもってきていただくことをお願いします。参考テキストは、下記の書籍です。前もってお読みいただくことも、学びを促進することになると思います。

※なぜ、あのリーダーの職場は明るいのか?—ポジティブ・パワーを引き出す5つの思考法 単行本(ソフトカバー)
ダイアナ・ホイットニー(著),アマンダ・トロステンブルーム(著) 日本経済新聞出版社

◆第5回 AIアプローチ応用講座

日程	2021年3月12日(金)10:00～19:30(18:00～19:30 交流会)(今年度より通い研修) 2021年3月13日(土) 9:30～18:00 2021年3月14日(日) 9:30～17:00 終了
担当者	津村 俊充、大塚 弥生
定員	12名
会場	ヒューマンコラボレーションセンター HCC 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
参加費	受講料：45,540円(41,400円+税)

参加者の声(アンケートより)

- AIの講座も良かったが、アプリシエイティブリーダーを育てていく方が組織を変えていくのには効果的だった。
- 言葉が未来を創ることをあらためて確認できた。
- ペアインタビューからはじまってPOPO、チーム診断、新しい実習「グリーティングカード」と盛りだくさんの内容の1つ1つに今の自分を「ふりかえる」ことができて、意味があった。
- AIの課題、自分の傾向など、起きていることに実際に向き合えた。
- アプリシエイティブ・リーダーシップ講座の仕組み、鍵になるポイント、難しいパートがわかった。

つながりのある
地域づくり

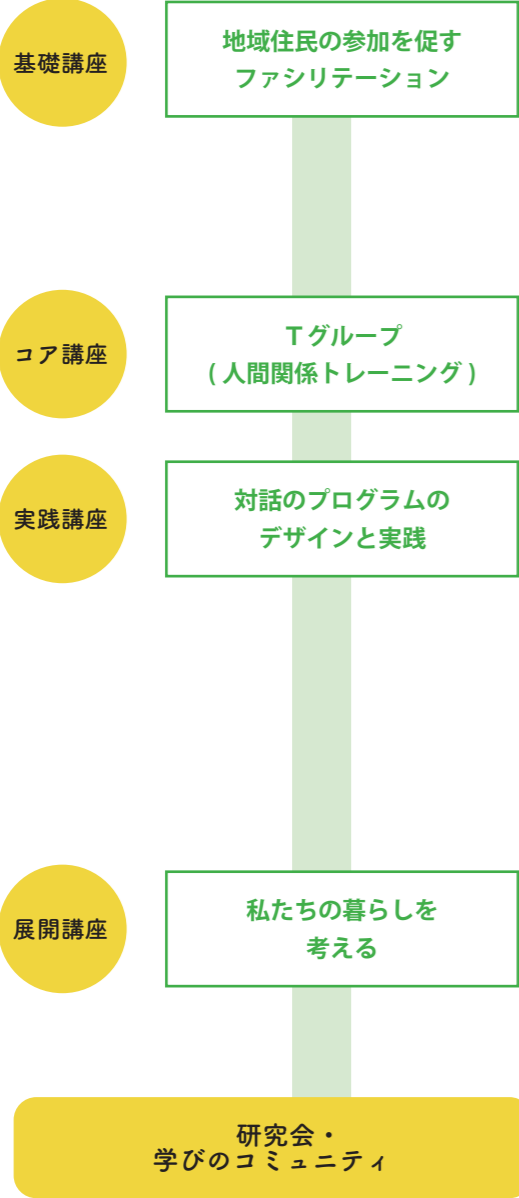
現代日本において、少子高齢化、人口減少、人間関係の希薄化などにより、さまざまな社会課題が生まれています。いつか起きるであろう災害時の救出や助け合い、超高齢化社会における相互の見守りや生活支援、地域に生きる人びとが主体となる助け合いの必要性が増している時代に、私たちは生きています。

地域コミュニティはそこに生活する人びとが創り出すものです。地域のお祭りや運動会などの楽しい行事に参加し、地域への愛着がはかられる一方で、社会的環境や過去からのしがらみ、複雑な人間関係、考え方・価値観の相違など、解決困難な問題が起こっています。困難な問題を解決するためには、地域に生きる人々との話し合い、対話の場、そしてその場の話し合いを促進するファシリテーターの存在が、とても重要視されています。

本講座は、次のような講座で構成されています。

地域づくり入門

現在社会で起こっていること、地域コミュニティの課題を知ることから始まり、その課題解決の取り組み事例や解決手法を学びます。



→ P.23 **地域住民の参加を促すファシリテーション**
地域活動に関心を持っていない人に主体的な参加を促進するための実習を作成します。その過程を通して、他者と一緒に仕事をするときの自分の言動の特徴や視点にも気づくことが出来るでしょう。さらに、コミュニティを構成する多様性ある人々と共に生きるために、どのような働きかけや支援が必要かを学びます。その際にファシリテーターとして持っている役立つツールを学びます。

→ P.12 **Tグループ (人間関係トレーニング)**

→ P.23 **対話のプログラムのデザインと実践**
地域コミュニティで行われるワークショップで使われている対話の手法を体験し、学ぶとともに、実際に自分のフィールドで活用できるように、対話の場のプログラムデザインを行い、その場を想定して実施し、仲間からのフィードバックを得ることで、ブラッシュアップを図ります。また、人々の対話を促すファシリテーターとして、大切にしたい価値観や姿勢を学ぶことも期待できます。
地域活動に取り組んでいる人、地域づくりに関心のある人、地域で起こっていることに関心を持ち、活動を始めたいと考えている人におすすめです。

→ P.23 **私たちの暮らしを考えるワークショップ**
→ P.24 **インタープリター・トレーニング その他**

→ P.25 **「ラーニングカフェ FOR CHANGE」 (対話の場の醸成と実践)**

地域づくり入門講座

テーマ	第1回「今、地域では…」	第2回「地域の未来を考える」
日程	2020年5月9日(土) 13:00～16:00	2020年5月24日(日) 13:00～17:00
担当者	岡田 衣津子	稲葉 久之
定員	16名(最少催行人数6名)	
会場	ヒューマンコラボレーションセンター HCC 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889	
参加費	2,750円(2,500円+税)	4,400円(4,000円+税)

地域住民の参加を促すファシリテーション

テーマ	第1回「対話のツールを創る」 —地域住民の主体的な参加を促進する ツールを創ろう—	第2回「ファシリテーターの工具箱」 —対話の促進に役立つツールを学ぼう—
日程	2020年6月14日(日) 10:00～17:00	2020年7月12日(日) 10:00～17:00
担当者	岡田 衣津子、他	岡田 衣津子、他
定員	12名(最少催行人数6名)	
会場	ヒューマンコラボレーションセンター HCC 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889	
参加費	9,900円(9,000円+税)	

対話のプログラムのデザインと実践

テーマ	第1回「対話のツールを活かす」 —地域コミュニティで対話を実践してみよう—	第2回「対話の場を創る」 —対話の場のファシリテーターとしての 姿勢を学ぼう—
日程	2020年10月24日(土)・25日(日) いずれも10:00～17:00	2020年11月14日(土)・15日(日) いずれも10:00～17:00
担当者	岡田 衣津子、他	岡田 衣津子、他
定員	12名(最少催行人数6名)	
会場	ヒューマンコラボレーションセンター HCC 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889	
参加費	19,800円(18,000円+税)	

私たちの暮らしを考えるワークショップ

テーマ	第1回ワークショップ：気候変動とSDGs	第2回ワークショップ：タンザニアの今
日程	2020年4月18日(土) 13:30～16:30	2020年5月10日(日) 18:00～20:30
話題提供者	林 理史(中部地方ESD活動支援センター)	島岡 強
会場	ヒューマンコラボレーションセンター HCC 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889	
参加費	無料	

私たちの暮らしを考える

インタープリター・トレーニング ～環境教育実践から SDGs 実現をめざす～

インタープリターとは、自然や文化など目に見えるモノを通して、目に見えないもの（自然界や歴史、価値や態度など）を伝える（もしくは学んでもらう）人を指しています。自然と人、人と人とをつなぐ仕事と言われます。環境教育は、人間を取り巻く自然環境、人為的な環境と人間との関係を取り上げながら、未来に渡り全地球の人々が幸せな生活を営むことができるように私たち人間がどのようなかわりをするよいかを理解し、行動できるように学んでいくことを目指しています。

環境教育は、自然環境に焦点を当てた自然系、一方公害やエネルギー問題にかかわる生活系、また国際理解教育や多文化・異文化共生にかかわる地球系と呼ばれるような領域が、今日では深くつながりをもちながら実践されてきています。

2015年9月には、「持続可能な開発目標(SDGs)」が国連で採択されました。すべての国連加盟国が、経済・社会・環境の側面を包括的に推し進めながら、2030年までに目指すべき到達点として生まれた「世界レベルの社会的契約」ともいえます。もちろん、日本も加盟国です。

SDGsは、17個の目標(図参照)にまとめられ、各目標の下には169の「ターゲット」が掲げられています。

JIELでは、2017年よりESDスペシャリスト育成プロジェクトとして、こうした社会問題に立ち向かう、とりわけESD(Education for Sustainable Development)の実践者(Change Agent)の育成に取り組んできました。そのプログラム中で、キープ協会の支援を受けて1泊2日のプログラムでインタープリター・トレーニングを実施してきています。2019年度から、これまでのプログラムの発展的展開として、キープ協会と共催という形で2泊3日のインタープリター・トレーニングを開催することになりました。

本講座では、清里の自然をふれあう体験を通して、環境教育のめざす理念や目的を理解すると共に、環境教育の実践者(インタープリター)体験を通して、学びの場を創る担い手になるトレーニングを目指しています。学びの場づくりには、ラボラトリー体験学習の理論と実践は欠かせません。清里の自然とキープの美味しい地産地消のお料理を楽しみながら、インタープリターとラボラトリー体験学習を学ぶ講座にお越しください。

※テキストは「インタープリター・トレーニング～自然・文化・人をつなぐインタープリテーションへのアプローチ」津村・増田・古瀬・小林編(ナカニシヤ出版)を使用します。

第4回インタープリター・トレーニング

日程	2020年8月22日(土) 13:00 受付 13:30 開会 2泊3日 2020年8月24日(月) 14:00 解散
担当者	津村 俊充・鳥屋尾 健 (KEEP 協会環境事業部長)
定員	18名
会場	(財)KEEP 協会 ハリスホール 〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545 宿泊はコテージを利用(男女別棟)
参加費	受講料: 29,700円 (27,000円+税) 滞在費: 17,000円(税込)(予定)(宿泊費、食費、会場費を含む)

※宿泊型のプログラムのため、上記施設にご宿泊いただけます。また、グループワーク体験を通じた学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。滞在費は、現在、施設と交渉中です。多少変更があるかもしれません。



インタープリター・トレーニング ～自然・文化・人をつなぐインタープリテーションへのアプローチ～



津村俊充・増田直広・古瀬浩史・小林毅 編
ナカニシヤ出版
B5判 198ページ
定価 2,750円(2,500円+税)
2014年12月10日発行
「インタープリテーションとは何か」を自然や文化や歴史などの対象とオーディエンスの間に立って、参加者の新たな知識体系模索のための促進者になりたいと思う人たちのためのトレーニング教本。



ラーニングカフェ FOR CHANGE

日本体験学習研究所(JIEL)では、実験的・冒険的試みとして、地域の人々に対話の場を提供し、参加者のみなさまが今考えている関心事や問題を自由に話し合いながら、どのようなことがそれらの関心事に潜んでいるのかを共有し、共通の理解が生まれる場を創っています。

古くは、1950年頃より、R.リピットをはじめ多くのラボラトリー体験学習の創設者である研究者が実施してきています。

2020年度のラーニングカフェ FOR CHANGE の開催予定日 (各回とも 19:00 ~ 21:30)

第58回	2020年 4月10日(金)	第62回	9月2日(水)	第66回	2021年 1月13日(水)
第59回	5月13日(水)	第63回	10月16日(金)	第67回	2月12日(金)
第60回	6月12日(金)	第64回	11月11日(水)	第68回	3月10日(水)
第61回	7月8日(水)	第65回	12月11日(金)		

会場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
参加費	1,000円(税込)(茶菓代&1ドリンク付き) ※参加費は当日会場でお支払いください



体験学習実践研究会

この研究会は、さまざまな領域で人とかわる力の育成や人間関係づくりに関心をもつ人々が集まり、『体験学習』のための実習教材の体験をしたり、研修教材開発やプログラムの設計・展開に関する討論を行っています。コーヒーやお菓子などもつまみながら、自由な雰囲気です。 ※資料等は都度提供されます。

2020年度の体験学習実践研究会の開催予定日 (各回とも 13:30 ~ 16:30 / 12月1日のみ 13:30 ~ 17:30)

第34回	2020年 5月16日(土)	参加資格	人間関係力の育成や人間関係づくりに関心をおもちの方、特に「体験」を通して学びの場を創ることに関心をおもちの方ならどなたでも参加できます。(不明な場合は、お問い合わせください)
第35回	6月13日(土)		
第36回	7月4日(土)		
第37回	9月5日(土)		
第38回	10月3日(土)	会場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
第39回	11月29日(日)		
第40回	2021年 2月13日(土)		
		参加費	1,000円(税込) ※参加費は当日会場でお支払いください



AI アプローチ実践研究会

JIEL主催のAIアプローチ基礎講座に参加されたメンバー(AIプラクショナー)が隔月で集まり、自身の実践の報告や現在進行形のチームや組織の活性化に向けた働きかけなどを巡って、自由に話し合う研究会です。

12時頃に集まり、まずは、中華の出前を頼み、飲み物を片手に食事を楽しみながら、チェックイン的状況報告。その後、今の関心事をアジェンダに出して、午後4時頃まで、自由気ままな対話の時間を過ごしています。いつもたくさんのあふれんばかりの刺激的な話を語り合いながら充実の時間を過ごしています。

是非、JIEL主催のAI基礎講座にご参加いただき、AI実践研究会の仲間になってください。

2020年度のAIアプローチ実践研究会の開催予定日 (各回とも 12:00 ~ 16:00)

第25回	2020年 5月17日(日)	会場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
第26回	7月5日(日)		
第27回	10月4日(日)		
第28回	2021年 3月21日(日)		
		参加費	1000円(税込) + その他昼食代金(中華出前) 要 ※参加費は当日会場でお支払いください

公開講座	入門 人間関係づくり
	セルフサイエンス
	共通のつながり
	グローバルキャリア
	教育プログラムのデザインと実践
	オンライン・セミナー
	チームや
	ラボラトリー体験
	トレーニング
	インタープリター
	AIアプローチ
	AIアプローチ
	地域づくり
	インタープリター
交流から学ぶ	
	受託研修
	DVD紹介
	スタッフ紹介
	受講申込
	年間スケジュール

DVD「つんつんのミニレクチャー 32講」

ラボラトリー方式の体験学習の基本的な考え方をお伝えする動画を作成しました。体験だけの学習に終わらないために、体験後の内省と気づきの概念化が大切です。その手助けになるのが、認知地図 (cognitive map) です。体験学習参加者の皆様に、ホットな体験とクールな概念をこの動画を通してつなげていただけると幸いです。



つんつんのミニレクチャー 全4巻

企画・著作・出演 津村 俊充 (JIEL 代表理事・所長)
 撮影・制作 津村 勇一郎 (ツムラオフィス)
 定 価 全4巻セット 下記価格表参照
 発 行 2017年1月1日

ラボラトリー方式の体験学習に関わる基本的な考え方を、4つのジャンル『ラボラトリー教育基礎編』、『コミュニケーションとグループ編』、『ファシリテーター編』、『Tグループ編』に分け、計32本の動画にまとめました。

ラボラトリー方式の体験学習を用いた「人間関係づくりファシリテーション」の実践が行われている方、さまざまな領域の教育や組織開発に関わる方は必携です。

第1巻 ラボラトリー教育基礎編

「人間関係づくりファシリテーション：人間関係とは」
 「ラボラトリー方式の体験学習とは」
 「ラボラトリー体験学習から学ぶために」
 「関係を観る視点：コンテンツとプロセス（個人レベル）」
 「ジョハリの窓 (The Johari Window) に学ぶ」
 「フィードバックを受け与える」
 「グループの意思決定のスタイル：コンセンサス」
 「社会的相互作用の循環過程」

第2巻 コミュニケーションとグループ編

「コミュニケーションのプロセスモデル」
 「コミュニケーションの障害要因は」
 「コミュニケーションの働きと聴くこと」
 「グループの中で何を観るか」
 「グループの発達：ギブの懸念モデル」
 「グループの発達：シュッツの理論」
 「グループの発達：タックマンモデル」
 「K.レヴィンの変化モデル：ギブの懸念を活用する」
 「リーダーシップ研究の流れ」

第3巻 ファシリテーター編

「体験学習のふりかえりとファシリテーターの働き」
 「コルブモデルの体験学習のステップと期待される効果」
 「体験学習のステップを多面的に考える」
 「実習教材を用いたファシリテーションガイドライン」
 「2つのプロセスに働きかけるファシリテーター」
 「E.シャインのORJIモデル」
 「W.B.レディのプロセスコンサルタントの働きかけ」
 「教育者養成に向けての視点とアプローチ」

第4巻 Tグループ編

「Tグループの誕生と日本における変遷」
 「Tグループの変化：誕生から今日」
 「Tグループと対話型OD」
 「K.レヴィンの人間観」
 「TグループとBEGとの比較」
 「エントリーとリエントリー」
 「グループワークがもたらす効果」

「つんつんのミニレクチャー」DVD全4巻 販売価格（すべて他に消費税がかかります）

利用目的	JIEL 主催研修に参加	個人支払い（領収書個人名）	16,000円
		個人の学習のために利用	JIEL 主催研修未参加
個人支払い（領収書個人名）	32,000円		
研修時に再生利用	JIEL 主催研修会参加にかかわらず	法人・企業支払い（領収書法人名）	64,000円
		個人・法人・企業にかかわらず	640,000円

※ 複製および営利目的での動画のご使用はかたくお断りします。

※ JIEL 主催研修にご参加いただいた方に限らせていただきます。



受託研修（コンサルテーション）

日本体験学習研究所 (JIEL) では、学校教育現場、企業など組織内研修、看護医療現場での医療従事者の研修など幅広いジャンルの現場から研修依頼をいただき、各機関のご要望にお応えしています。これまでコミュニケーション、グループワーク、チームづくり、組織開発など人間関係から生み出されるグループダイナミクスを活かす研修を提供し、ご好評をいただいています。さまざまな機関のご要望を聞き取り、ニーズにあったオリジナルのプログラムのデザイン・実施から、それぞれの機関の変革のためのコンサルテーションまでご相談・ご依頼をお引き受けしています。

研修・ご相談についてのご質問、ご依頼は、まずはお気軽に JIEL 公式サイトよりお問い合わせください。

JIEL
公式サイト
<https://www.jiel.jp>

2019年度研修（コンサルテーション）実績（順不同）

依頼機関	受託研修プログラムタイトル
愛知県私立幼稚園連盟	お互いを尊重するコミュニケーションの考え方とスキルを学ぶ
愛知県知多北部広域連合	介護現場におけるハラスメントの理解～対処方法と防止策の基本
生涯学習ネットワーク中部	生涯学習相談員ボランティア養成講座 「コミュニケーションとは」「価値観について」
社会福祉法人 昭徳会	職員研修「コミュニケーションの基本」
社会福祉法人 昭徳会	職員研修「コミュニケーションの基本～報告・連絡・相談～」
小牧市教育委員会	夏季教職員研修「体験学習による人間関係づくり実習」
名古屋市教育委員会	令和元年度グループリーダー人権問題研修会 「自分も相手の大切に、アサーティブコミュニケーション」
なびぼらの会	第8回図書館案内ボランティア養成講座 「コミュニケーションとは？ ～価値観について～」
東京女子医科大学病院 2施設合同	コミュニケーション研修
東京女子医科大学病院 3施設合同	新リーダーシップI研修
山形県民主医療機関連合会	2019年山形県民医連看護師長・主任研修会 「明日から実践できる師長・主任のためのファシリテーション」
名古屋市教育委員会	イーブルなごや公開講座 「アサーション入門 ～自尊心のメッセージ～」（4回シリーズ）
名古屋市教育委員会	西生涯学習センター＜女性セミナー＞ 「私を素直に伝えましょう ～アサーティブ・コミュニケーション～」
愛知県保健師会	令和元年度愛知県保健師会研修会「伝える、つながるアサーション入門」
株式会社アドフィット	加盟店研修「コミュニケーションの基本」
社会福祉法人愛知玉葉会	職員研修「苦情対応について」 （ピンチはチャンス！つながりのコミュニケーション）
名古屋市教育委員会	天白生涯学習センター＜女性セミナー＞ 「私もあなたも大切に ～アサーティブに思いを伝える～」
国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	プライマリ・ナーシング入門コース 合宿研修
小牧市社会福祉協議会	ボランティア勉強会「わたしのコミュニケーションの再点検」

■ 代表理事・所長

津村 俊充 (南山大学名誉教授)



さまざまな教育現場や組織開発への体験学習の導入・普及に関心をもつ。マサチューセッツ大学教育学大学院にてセルフサイエンスを学ぶ。同時にNTLにてラボラトリー方式の体験学習のトレーナートレーニングを受ける。NTL主催のAppreciative Inquiry Approachによる「Designing Experiential-Based Learning」のプログラムなどに参加し、対話型組織開発に関心をもつ。2011年に、日本人では初めてNTL Instituteメンバーとなる。

■ 名誉研究員

星野 欣生 (南山短期大学名誉教授)



家庭裁判所調査官、ビジネスコンサルタントを経て、現在、南山短期大学名誉教授。米国SIT(School for International Training)にて体験学習の教授・学習過程を研究。NTLでラボラトリーメソッドによる体験学習の基礎と実践応用を学ぶとともに、トレーナートレーニングを受ける。生涯学習、組織開発、とりわけ組織内教育や組織内教育のトレーナー養成を専門とする。

■ 研究員 (アルファベット順)

後藤 雅子



健康に暮らすための関わりから、その人らしく日々を過ごすために、ともに考え、ともに学び続けている。協同教育の理念を用いた健康教育とおして、その人らしくあることと健康とを結びつける活動を行っている。

林 芳孝



人はいかにしたら幸福になれるか、どうしたら生きがいを得られるか、人生を意味あるものとして終えていけるか。ポジティブ心理学や幸福学を中心に心理学の視点から探究し、得た知見をベースに、体験学習によるファシリテーション実施、プログラム開発を行っています。

垣内 芳文



中小企業診断士として経営支援の現場でイキイキとした組織づくりとビジネス的な成果の両面を支援。近年では働き方改革の現場支援やリーダー研修においてもAIの要素を導入し、企業に活力と成果をもたらす職場づくりをクライアント様とともに探求している。

岸田 美穂



人との出会いから豊かな気づきや学びが生まれる。グループの活動を通して、メンバーの意識や行動が変化し、グループ自体も成長していく。一人ひとりのもちあじをいかしあう、チームや組織づくりを探究し続けている。

國武 恵



教員の経験を生かし、子どもたち自身の関係づくりに役立つ実習の開発やファシリテーションの研修を中心に活動している。他者より豊かに関わりながら自分らしく生きることを支援していきたい。また、自分もそうありたいと考えている。

水野 節子



自他尊重のコミュニケーションの方法であるアサーションやアサーティブであるために役立つNVCの研究と実践に取り組む。対人援助、リーダーシップ、クレーム対応、いじめ防止など幅広い研修にこれらを活用している。

岡田衣津子



さまざまな社会的な課題を住民自身が発見し、解決する「住民主体のコミュニティづくり」に関心をもつ。地域コミュニティ活性化、多文化共生のための対話・交流の場をコミュニティの中に醸成し、住民一人ひとりのエンパワメントの向上を目指した支援を行っている。

鈴木 由子



看護師の経験を生かして、医療・福祉の現場で、教育、人材育成にAI(Appreciative Inquiry)アプローチの視点を持って活動しその普及も目指している。また、いかに自分の感情やニーズを理解した上で、自分らしくコミュニケーションを行うかについて学び続けている。

JIEL 研究員になるために

JIELのミッションに共感・賛同し、研究員相互にラボラトリー方式の体験学習の哲学と実践を探究する精神を尊重すると共に、JIELの必要な公開講座に参加し、申請書を提出して認められることです。

JIEL ヤングフェローズ制度

日本体験学習研究所 (JIEL) では、ラボラトリー方式の体験学習の実践研究を担う次世代のファシリテーターの養成を目的としたヤングフェローズ制度を設けています。要件として、30代までの方で、JIEL主催もしくは他団体の5泊6日のTグループに参加された方としています。2018年度は、5名のヤングフェローズが所属していました。



受講申込

[1] 受講申込

お申込方法

基本的にはWEBページから申込みをお願いします。
※WEBページが難しい場合には、FAX (052-804-1889) にてお申込みください。

JIEL
公式サイト
<http://www.jiel.jp>

お申込後の講座参加者の変更

公平を期すために、個人名での申込みのみとさせていただきます。
団体名での申込及び申込後の参加者の変更はお断りしています。

[2] 受講料の振込

- ①原則 E-mail にて振込依頼を送付いたします。記載されている受講料を指定の銀行口座へお振込ください。
- ②期日にご入金を確認できない場合は、キャンセルされたものとみなしますので、ご注意ください。

<振込先>

三菱UFJ銀行 平針支店 (店番 095)
(普通) 口座番号 0159782
名義「一般社団法人日本体験学習研究所 代表理事 津村俊充」

郵便局普通口座
記号 (12180) 番号 (26757301)
名義: シヤ) ニホンタイケンガクシュウケンキュウジョ

[3] 受講案内

受講料の入金確認後、原則 E-mail にて受講案内等をお送りします。振込後、1週間以内に届かない場合はご連絡をください。

[4] 開講日

- ①各講座の日程に合わせて、指定の会場までお越しください。講座ごとに、開講日、時間、会場は異なります。お間違いのないよう充分にご確認ください。
- ②テキストの必要な講座は、初日に受付にて販売いたします。

[5] キャンセル連絡とキャンセル料について

当研究所受付日	受講料入金後の場合	受講料の20% (各講座上限1万円) + 振込手数料
講座開始 10日前~3日前の場合		受講料の50% + 振込手数料
講座開始 2日前~当日の場合		受講料の全額 (返金なし)

注1: 受講をキャンセルされる場合は、早急にご連絡をください。当研究所事務受付時間外に E-mail、またはファックスにてキャンセル連絡をいただいた場合は、翌事務受付日扱いでキャンセル処理をいたします。あらかじめご了承ください。

注2: 宿泊講座の滞在費については、各宿泊施設のキャンセルポリシーに基づきご返金対応をいたします。

[6] 講座の中止について

申込者が規定の人数に満たない場合、天候や自然災害、交通事情などの影響のある場合、担当講師の避けられない事情が発生した場合、開講を中止することがあります。
当研究所の理由により講座を中止する場合は、入金された受講料を全額ご返金いたします。

公開講座	入門 (個人受講)	セルフサイエンス	共通でつながる (アサーション)	グループワーク (グループワーク)	教育プログラムのデザインと実践	ナレッジ・デザイン	チームづくり入門	ラボラトリー体験 (学習者体験)	Tグループ (Tグループ)	Tグループ (Tグループ)	Tグループ (Tグループ)	グループプロセス (グループプロセス)	AIアプローチ (AIアプローチ)	AIアプローチ (AIアプローチ)	地域づくり入門	オンライン講座
------	-----------	----------	------------------	-------------------	-----------------	-----------	----------	------------------	---------------	---------------	---------------	---------------------	-------------------	-------------------	---------	---------

2020 - 2021 年間スケジュール

2020/	4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September	10 October	11 November	12 December	2021/	1 January	2 February	3 March
1	水	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	木	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	金	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	土	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	日	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6	月	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7	火	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
8	水	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	木	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
10	金	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
11	土	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
12	日	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
13	月	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
14	火	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
15	水	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
16	木	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
17	金	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
18	土	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
19	日	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
20	月	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
21	火	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
22	水	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
23	木	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
24	金	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
25	土	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
26	日	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
27	月	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
28	火	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
29	水	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
30	木	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
31	日	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31

第15回 Tグループ@清里

第1回グループ・キャリアコンサルテーション(前半)

第23回 ラボラトリー基礎講座@福岡

第17回 Tグループ@清里

第4回 共感でつながるアサーション

第5回 AIアプローチ応用講座

第19回 ラボラトリー基礎講座@名古屋

第22回 ラボラトリー基礎講座@大阪

第8回 AIアプローチ基礎講座

第6回 Tグループファシリテーター・トレーニング(ベーシック)@清里

第1回 Tグループファシリテーター・トレーニング(アドバンス)@御岳

第21回 ラボラトリー基礎講座@東京

第20回 ラボラトリー基礎講座@長野

第6回 グループプロセス・コンサルテーション

第1回 教育プログラムのデザインと実践

INDEX・概要
公開講座
入門(基礎づくり)
セルフサイエンス
共通でつながる
AI実践研究会
グループ・キャリア
ラボラトリー体験
教育プログラムのデザインと実践
ナレッジ・ファシリテーション
チームづくり入門
ラボラトリー体験
Tグループ
Tグループ・ファシリテーター
グループ・プロセス
AIアプローチ
AIアプローチ
地域づくり入門
インターンシップ
交流から学ぶ
受託研修
DVD紹介
スタッフ紹介
受講申込
年間スケジュール